

# 基本計画

前期基本計画は、令和2年度から11年度までのまちづくりの指針となる「第6次鶴ヶ島市総合計画」のうち、2年度から6年度までの5年間に取り組むべき内容を具体的に示したものです。

総合計画は、基本構想と基本計画からなる市の最上位計画です。

本市議会では、「基本計画」を鶴ヶ島市議会基本条例に基づく議決事件としており、新たに設置した「前期基本計画審査特別委員会」に付託し、審査を行いました。

委員会での審査結果は「可決すべきもの」で、3月16日の本会議において採決の結果、可決されました。

議案第26号  
第6次鶴ヶ島市総合計画（前期基本計画）について

## 地域連携による子育て支援

Q 子育て支援の充実としての子どもの居場所づくりは。

A とも支援課長 学童保育室や放課後子ども教室の実

施を中心に、庁内や地域支え合い協議会等と連携して居場所づくりを進めていきたい。

## 教育環境の充実

Q 教員の働き方改革に向けた取組は。

A 学校教育課長 統合型校務支援システムを導入して出

退勤を管理し、それぞれが在校時間を意識することで、子どもと向き合う時間の確保に努めていきたい。



## 歴史・文化の継承と芸術の振興

Q 文化財の保存状況と今後は。

A 生涯学習スポーツ課長 文化財整理室と旧庁舎で保存

している。今後は、保存物の増加や建物の老朽化に対応するた

め、公共施設個別利用実施計画の検討を踏まえ、今後の方向性を検討していく。



保存している文化財

## 健康づくりの推進

Q 健康無関心層へのアプローチは。

A 健康増進課長 様々な媒体

を活かした健康づくり情報の発信や、市民の中に健康づくりの知識を持ち、宣伝できる方を増やす取組を継続的に行う。

Q フレイル予防の取組は。

A 健康増進課長 フレイルサポーター等を育成し、地域

でフレイルチェックを行っていく。

## 地域コミュニティの充実

Q 今後5年間の自治会への支援は。

A 地域活動推進課長 自治会

度から活動保険加入の補助を新たに考えている。また、週末に地域の活動が活発化することか

ら、土曜日に職員を市民センターに配置し、相談体制の強化を図っていく。

## 交通安全対策の充実

Q 自転車の交通安全対策は。

A 安心安全推進課長 小学校

での交通安全教室や高齢者の自転車安全利用講習会、そのほか街頭指導などの啓発活動等を行っているが、毎年自転車事故が多数発生している。3年度からの次期交通安全計画では、現状を勘案して対策を盛り込んでいきたい。



自転車安全利用講習会

## 工業の振興と地域資源の活用

Q にぎわいのある商店街の形成について、具体的取組は。

A 産業振興課長 鶴ヶ島駅西

口商店街を中心としたサマーカーニバルを行っていただいている。活動をサポートしながら、にぎわいを創出していきたい。

Q いわゆる中小企業振興条例の策定の考えは。

A 産業振興課長 県内でも10市1町が制定している。本市も奨励策として商工会と連携しながら、創業に関する相談等の中小企業支援を行ってきた。

条例制定とは別だが、今後も相談等を通じ、地域の中小企業を盛り上げていく。

## 公園の整備と緑化の推進

Q 本計画における公園の多機能化・発展性とは。

A 都市施設保全課長 防災機能や地域コミュニティの場

としてなどの、地域に合った公園のリニューアルも必要であると考えている。

## 公共交通の充実

Q 一本松駅のバリアフリー化や駅改修等における今後の取組は。

A 都市計画課長 2年度に段階

化ができるよう進めている。また、南口改札の開設に向けて、引き続き東武鉄道株式会社と協議を進めていく。

